



6月新着図書案内



中旬版
富山中部高校図書館



おとなの教養2

私たちはいま、どこにいるのか？

池上 彰 著

AIとビッグデータ、キャッシュレス社会、民族紛争に地政学、ポピュリズムから日本国憲法まで、いま知っておきたい6つのテーマについて、歴史や経済、政治学の教養をベースに、わかりやすい解説で問題のみなもとにまで迫る。



メシが食える大人になる！

よのなかルールブック

高濱 正伸 著

迷ったときは、キツイほうを選ぶ。自分のことばで話せる人になる。「ありがとう」を口ぐせに——。少しずつ下り坂の道をすすんでいる日本で、人生を生き抜くために必要なことを、50のことばとともに紹介する。ちょっぴりピリ辛なことばと、ユーモアあふれるイラストの組み合わせが楽しい1冊。



フォト・ドキュメント

世界の統合と分析の「橋」

アレクサンドラ・ノヴォスロフ 著

「橋」からたどる移民問題、貧困と格差、治安、そして争いの根源。「橋」はコミュニティを結びつける。そして、同時に分断と選別の道具にもなる。「橋」から見た「今ある世界」を、現地に足を運び、写真に収め、人々の話を聞き、その問題点をあぶり出す書。



食の実験場アメリカ

ファーストフード帝国のゆくえ

鈴木 透 著

先住インディアン、黒人奴隷、各国の移民らの食文化が融合したアメリカの食。そこから独自の食文化が形成されたが、画一化されたファーストフードや肥満という問題も引き起こした。食から移民大国の歴史と現在を読む。



白昼夢の森の少女

恒川 光太郎 著

人間の身体を侵食していく植物が町を覆い尽くしたその先とは——表題作「白昼夢の森の少女」をはじめ、現実と異界のあわいをゆうゆうと飛び越える、ダークファンタジーの傑作短編集。

図書館からのお知らせ

読書教養講座で菅田智雄先生から紹介された「宮本輝」の本を展示・貸出しています。